

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業		担当部局庁	文化庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	文化部芸術文化課 文化財部伝統文化課	芸術文化課長 山崎 秀保 伝統文化課長 湊屋 治夫			
会計区分	一般会計		施策名	XII-1 芸術文化の振興				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術振興基本法 第25条		関係する計画、 通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	①トップレベルの舞台芸術創造事業 トップレベルの芸術団体による舞台芸術の創造を重点的に支援することにより、我が国の舞台芸術水準の飛躍的向上を図り、その成果を広く国民が享受できる環境を醸成し、「文化芸術立国」の推進に資する。 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 劇場・音楽堂による舞台芸術の創造発信を重点的に支援するとともに、地域の中核となる劇場・音楽堂からの創造発信を享受することにより、我が国の舞台芸術水準の飛躍的向上を図り、その成果を広く国民が享受できる環境を醸成し、「文化芸術立国」の推進に資する。 ③日本版アーツカウンシルの試行的導入 文化芸術への支援策をより有効に機能させるため、(独)日本芸術文化振興会における専門家による審査、事後評価、調査研究機能を大幅に強化し、諸外国のアーツカウンシルに相当する新たな仕組みを導入して、PDCAサイクルの確立を目指す。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①トップレベルの舞台芸術創造事業 独立行政法人日本芸術文化振興会が行う我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となっているトップレベルの芸術創造活動に必要な経費(稽古費、文芸費等)を支援する事業に対し補助する。〔事業費補助〕 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 優れた舞台芸術の創造・発信を自ら行うことができる劇場・音楽堂による事業が各地に展開し、地域の文化芸術活動の活性化と地域住民の鑑賞機会の充実を図るとともに、我が国の文化芸術の水準の向上を図るため、劇場・音楽堂等の文化施設が中心となり、地域住民や芸術関係者等とともに取り組む、音楽・演劇・舞踊等の舞台芸術の制作、教育普及、人材育成等を支援。採択施設数 92施設 [1/2支援] ③日本版アーツカウンシルの試行的導入 専門家(プログラムディレクター、プログラムオフィサー)を配置し、審査、事後評価、調査研究機能を大幅に強化するとともに、助成事業の成果や課題を調査分析し、助成事業の改善につなげる仕組みを導入する。(平成23年度においては、「トップレベルの舞台芸術創造事業」の中の音楽・舞踊分野において実施)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算			1,600	5,533	4,867	
		補正予算			△340	0		
		繰越し等			0	0		
	計				1,260	5,533	4,867	
	執行額				1,128			
執行率(%)				89.5%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)	
	①トップレベルの舞台芸術創造事業 芸術水準の向上を定量的に指標化することは非常に困難である。 【参考指標】 我が国の主要芸術団体における自主公演数		成果実績	公演数	3,593	3,100	平成22年度の調査 結果は取りまとまっ ていない	
	【参考】 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 採択団体における入場者数及び平均入場率		成果実績	入場者数			1,463,176	—
			達成度	平均 入場率			73.0%	80%
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	①トップレベルの舞台芸術創造事業 年間事業支援型:団体数 事業単位支援型:事業数		活動実績 (当初見込 み)	団体・ 事業				— (77団体) (124事業)
	②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 優れた舞台芸術の創造・発信を自ら行うことができる劇場・音楽堂の数		活動実績 (当初見込 み)	施設数	— ()	— ()	92 ()	— ()
単位当たり コスト	①トップレベルの舞台芸術創造事業 17.8(百万円/支援1件あたり) ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 12.3(百万円/1施設)		算出根拠	①トップレベルの舞台芸術創造事業 平成23年度予算額 3,584百万円/201件 ※年間事業支援型、事業単位支援型ともに1支援を1件として合算 ②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 単位当たりコスト=事業実績額(1,128百万円)/施設数(92)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	7	6	「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」の積算見直しによる減など 「トップレベルの舞台芸術創造事業」の助成箇所数の積算見直しによる減など				
	職員旅費	3	3					
	委員等旅費	8	6					
	庁費	16	14					
	文化芸術振興委託費	157	82					
	文化芸術振興費補助金	5,342	4,756					
計	5,533	4,867						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>①トップレベルの舞台芸術創造事業、③日本版アーツカウンシルの試行的導入 ①については、昨年度の行政事業レビュー及び「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)」(平成23年2月8日閣議決定)を踏まえ、芸術団体のインセンティブがより働くよう支援制度を見直しており、③の試行的導入とあわせて、その成果を検証しながら、事業を展開する必要がある。</p> <p>②優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 ②については、公演内容・レベルについて計画書と相違ないことを確認するとともに、チラシ等の提出を義務付け、実施内容の把握を担保している。また、収支報告と証憑書類等の突合せを行い、国庫支出の適正性を確保している。今後は、③の試行的導入と併せて、その成果を検証しながら事業を展開する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点:この事業は、劇場・音楽堂等の文化施設が中心となり、地域住民や芸術関係者等とともに取り組む、音楽・演劇・舞踊等の舞台芸術の制作、教育普及、人材育成等を支援する補助事業であり、予算と執行の乖離は正の観点から検証を行った。(なお、「トップレベルの舞台芸術創造事業」、「日本版アーツカウンシルの試行的導入」については平成23年度新規事業)</p> <p>2. 所見:本事業は、採択件数が当初計画より下回ったことなどを理由に平成22年度において不用(補正及び決算上)が生じている。今後、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査することなどにより、予算の見直しを図るべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>事業実施に当たり、施設ごとの事業内容と併せて経費の妥当性についても審査を行うなど、当初計画と実績とが乖離しないよう適切な予算執行を図るとともに、平成22年度の執行状況等を踏まえ、概算要求に▲694百万円反映した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

文化庁
1,128百万円

諸謝金 1.4百万円
芸術祭等運営費 1.2百万円

を含む

事業②
(優れた劇場・音楽堂からの
創造発信事業)

劇場・音楽堂等の文化施設が中心となり、地域住民や芸術関係者等とともに取り組む、音楽・演劇・舞踊等の舞台芸術の制作、教育普及、人材育成等を支援

【公募・請負】

A 各劇場・音楽堂等
92施設
1,115百万円

舞台芸術の制作、教育普及、
人材育成等の事業を実施

※庁費等執行分

【一般競争入札・請負】

B 株式会社スタッフジャパン
10百万円

優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業
契約関係書類作成補助業務

※庁費等執行分

※下記資金の流れは、平成23年度予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文化庁
5,533百万円

諸謝金 7百万円
職員旅費 3百万円
委員等旅費 7百万円
庁費 1.6百万円

を含む

① トップレベルの舞台芸術創造事業

独立行政法人日本芸術文化振興会が行う我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となっているトップレベルの芸術創造活動に必要な経費(稽古費、文芸費等)を支援する事業に対し補助。

【補助】

C 独立行政法人
日本芸術文化振興会
3,583百万円

我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能の各分野の意欲的な公演に対して支援

【公募・補助】

G 各芸術団体等
全201機関
3,553百万円

我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い公演を実施

② 優れた劇場・音楽堂からの
創造発信事業

劇場・音楽堂等の文化施設が中心となり、地域住民や芸術関係者とともに取り組む、音楽・演劇・舞踊等の舞台芸術の制作、教育普及、人材育成等を支援。

【補助】

D 各劇場・音楽堂等
81施設
1,717百万円

【公募・委託】

H 社団法人
全国公立文化施設協会
24百万円

公立文化施設において、自主的・主体的な芸術文化活動が行われるよう、芸術文化に関する情報提供事業を実施

③ 日本版アーツカウンシルの
試行的導入

独立行政法人日本芸術文化振興会が音楽及び舞踊の専門家を配置し、現場の実情を把握したうえで、審査員による専門的な審査・評価及び助言を行う、日本版アーツカウンシルを試行的に導入する事業に対し補助。

【補助】

E 独立行政法人
日本芸術文化振興会
43百万円

音楽及び舞踊の専門家を配置し、現場の実情を把握したうえで、審査員による専門的な審査・評価及び助言を行う、日本版アーツカウンシルを試行的に導入

【公募・委託】

F 民間企業等
1者
(平成23年実施予定)
10百万円

日本版アーツカウンシルを試行的に導入に伴う調査

【公募・委託】

I 社団法人
全国公立文化施設協会
66百万円

公立文化施設において、自主的・主体的な芸術文化活動が行われるよう、アートマネジメント、舞台技術者の研修事業を実施

【公募・委託】

J 民間企業等
1者
(平成23年度実施予定)
57百万円

芸術文化を通じた復興支援に関する調査研究(仮)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.フェスティバル／トーキョー実行委員会			F.民間企業等(平成23年度実施予定)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会場費等	大小道具費、照明・音響費、運搬費等	30	委託費	会議謝金、旅費、報告書作成費等	10
出演費等	出演料、企画制作料、翻訳料、振付料等	24			
謝金・旅費等	通訳料、渡航費、宿泊費、宣伝費、印刷費等	15			
計		69	計		10
B.株式会社スタッフジャパン			G.芸術団体		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費等	賃金(旅費、交通費、消耗品費等含む)	10	公演費	我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い公演の実施	81
計		10	計		81
C.独立行政法人日本芸術文化振興会			H. 社団法人 全国公立文化施設協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
助成金	トップレベルの舞台芸術創造事業助成金	3,553	謝金・旅費	講師謝金、交通費等	12
印刷製本費	募集、審査に係る印刷費等	10	諸経費	通信運搬費、印刷費、消耗品等	9
人件費	事業に係る人件費	7	人件費	賃金	3
謝金	審査謝金等	3			
旅費	審査、評価に係る旅費等	3			
その他	その他事業に係る雑役務費等	6			
	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				
計		3,583	計		24
D. 公益財団法人 びわ湖ホール			I. 社団法人 全国公立文化施設協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
公演費	自主制作公演及び共同制作公演等に係る経費	158	謝金・旅費	講師謝金、交通費等	27
			諸経費	通信運搬費、印刷費、消耗品等	25
			人件費	賃金	14
計		158	計		66
E.独立行政法人日本芸術文化振興会			J.民間企業等(平成23年度実施予定)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	PD、PO、調査員、事務補佐員等に対する謝金	32		(9月公募開始予定)	57
旅費	調査旅費	5			
その他	会場借料、資料費等	6			
計		43	計		57

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	フェスティバル／トーキョー 実行委員会	東京芸術劇場 フェスティバル／トーキョー10 (舞踊公演「SKINNETS-揮発するものへ捧げる」他)	69	企画競争	100.0%
2	財団法人 石川県音楽文化振興事業 団	石川県立音楽堂「創造的文化的総合発展事業」 (オーケストラ公演「アンサンブル金沢シリーズ」他)	48	企画競争	100.0%
3	財団法人 水戸市芸術振興財団	水戸芸術館 平成22年度水戸室内楽管弦楽団演奏会 (水戸室内楽管弦楽団「第79回定期演奏会」他)	48	企画競争	100.0%
4	財団法人兵庫県芸術文化 協会 兵庫県立芸術文化センター	兵庫県立芸術文化センター舞台芸術創造・交流促進事業 (文楽公演「曾根崎心中」、オーケストラ公演「管弦楽団魅力拡大事業」他)	47	企画競争	100.0%
5	財団法人 びわ湖ホール	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 声楽アンサンブルが人と地域と劇場を“つなぐ”創造的 びわ湖ホール事業 (オペラ公演「ヘンデルとグレーテル」、合唱公演「声楽アンサンブル定期公演」他)	46	企画競争	100.0%
6	公益財団法人 神奈川芸術文化財団	神奈川県地域劇場・音楽堂芸術交流プロジェクト (オーケストラ公演「ファンタスティック・ガラコンサート2010」、小学校への教育普及事業 他)	44	企画競争	100.0%
7	「交流と体験による青少年と オーケストラの集い」実行委 員会	仙台市青年文化センター「交流と体験による青少年とオーケストラの集い」事業 (オーケストラ公演「青少年のためのオーケストラ鑑賞会」他)	39	企画競争	100.0%
8	財団法人 富山市民文化事業団	富山市芸術文化ホール(オーパード・ホール)ミュージカル普及事業(名作ミュージカル上 演シリーズ①) (ミュージカル公演「グランド・ミュージカル「回転木馬」他)	36	企画競争	100.0%
9	財団法人 富山県文化振興財団	利賀芸術公園 質の高い文化の創造・発信事業 (演劇公演「SCOTサマー・シーズン2010」、「舞台芸術鑑賞会」他)	32	企画競争	100.0%
10	NPO法人 ふらの演劇工房	富良野演劇工場 市民と道内市町村との舞台製作協働事業 (富良野GROUP「歸国」道内公演と演劇ワークショップ他)	30	企画競争	100.0%

B. 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社スタッフジャパン	優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業における請負契約から支払いまでに係る関係書 類の作成補助業務	10	2	88.6%